

桑名文化協

平成25年9月20日
第 34 号
桑名市文化協会
桑名市中央町2丁目37
TEL 24-1361
<http://bunkyo-kuwana.jp>

新任のご挨拶

桑名市文化協会 会長 今村 和子



今年度の総会で会長に就任させていただきました。非力な私が無事務められるか心配ですが、副会長さん、理事の皆様のおかげでこの任期をのり切りたいと思っております。会員の皆様どうぞよろしく願います。

昨年は協会設立の二十年にあたり記念事業として、友好都市の新潟県柏崎市の文化協会との交流を持つことができました。四十余名の会員の参加を得、バスで雪の中柏崎の地に伺いました。その文化にふれて、水準の高さに皆一様に

驚き、感心をして帰って参りました。

今年度は特に例年とはちがう行事の予定はありませんが、各副会長が事業毎に担当者となり、理事会を通して例年のように事業を計画しております。桑名市民芸術文化祭のふれあい交流会は、合併による長島・多度の人たちと文化協会の活動を進展させていただこうと実行していきます。

前会長が心配されていた通り、高齢化を一因として会員数が減少気味で、後継者を育成するということが急務のように思われます。どの様にすれば今の若い人たちに文化協会の活動に参加してもらって、桑名古来の文化の継承等が出るのかということを考えてはなりません。現会員の作品の出

品者、舞台での演者たちだけでは、文化協会の活動は独りよがりのものでなってしまう。鑑賞に来て下さる市民の皆様方をいかに多く集客し、私たちの活動に賛同していただけるかという点についても、協会として、又一会員としてもっと努力していかねばと思いません。

近隣の市町の文化協会の活動を参考にすると、いろいろな事でも大切なことです。会員の皆様方からも色々な活動を提案していただきたいと思えます。

このような思いを大切にして、会長としての任期を務めたいと考えています。皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。



副会長を拜命して

副会長 西村 治生



今村和子会長の就任に伴い副会長を拜命しました。どうぞ宜しく願っています。

音楽部門会では、設立二十七年目を迎えるJCブラザーズという「おやしバンド」の一員として活動しています。今でも週一回の練習日には仲間達と語り・歌い、そして杯を酌み交わす。それが長年音楽と付き合えた秘訣です。

副会長任務としては、中山副会長と共に「ふれあい交流会」を担当します。楽しく有意義な催しになるようがんばります。

今年還暦を迎えました。これまで諸先輩方に育てて頂いたお返しが僅かでも出来ればと思います。どうぞ宜しく願います。



第22回 桑名市民芸術文化祭

プログラム



9/22(日) ①11時～ ②14時～	演劇の祭典「鉄道員」 大山田コミュニティプラザ 文化ホール
10/6(日) 10時30分～19時(受付 9時30分)	趣味教養祭 市民将棋大会 桑名市民会館 大会議室
10/10(木)～13(日) 10日 12時～17時 11,12日 9時～17時 13日 9時～16時	日韓友好親善美術展 くわなメディアライヴ 多目的ホール3,4室
10/12(土)・13(日) 12日 ファッションショー 14時～16時(開場 13時30分) 13日 作品展示と体験 9時～16時	くわコレ'13 桑名市民会館 展示室
10/19(土)・20(日) 19日 9時～17時 20日 9時～15時	趣味教養祭 桑名愛石会第36回水石展 メディアライヴ 多目的ホール
11/3(日・祝) 9時30分～17時(開場 9時)	吟剣詩舞道の祭典 桑名市民会館 小ホール
11/3(日・祝) 10時～15時30分	お茶会 六華苑 一の間:表千家流 離れ屋:遠州流
11/3(日・祝)・4(月・振休) 10時～16時	華道展 市民会館 展示室、大会議室
11/9(土)・10(日) 9日 9時～17時 10日 9時～15時	趣味教養祭 彫型画、パッチワーク、きもの等 桑名市民会館 展示室
11/10(日) 9時30分～12時30分	小倉百人一首 初心者かるた取り大会 六華苑 一の間
11/10(日) 13時～17時(開場 12時30分)	音楽のフルコース 桑名市民会館 小ホール
11/14(木)～17(日) 14日 12時～17時 15・16日 9時～17時 17日 9時～16時	美術部門展 くわなメディアライヴ 多目的ホール
11/24(日) 13時～17時(開場 12時30分)	ダンス、DE, パフォーマンス "2013" 桑名市民会館 大ホール
12/7(土)・8(日) 7日 13時～16時 (開場 12時30分) 8日 10時～16時 (開場 9時30分)	芸能の祭典 桑名市民会館 大ホール
2014年3月発行 「桑名文協」	文芸作品掲載 各公民館・センターに設置予定



●協賛事業

9/21(土) 10時～16時(開場9時30分)	「能に親しむ 謡と仕舞」 第27回桑名能楽連盟発表会 桑名市民会館 小ホール
11/2(土) 14時～15時30分(開場 13時30分)	シャンテ・クレール 第25回定期演奏会 桑名市民会館 大ホール
12/1(日) 14時～ (開場 13時30分)	イ・フィオーリ 20周年記念コンサート 桑名市民会館 大ホール

市民芸術文化祭へのお誘い

吟剣詩舞道の祭典

芸能II部門(桑名市吟剣詩舞道連盟)

藤田周作

第二十二回吟剣詩舞道の祭典は十一月三日、桑名市民会館小ホールで行われます。吟剣詩舞道連盟に加盟している二百五十余名の会員が、この日の為に日々練習をしております。

漢詩や和歌などを吟じる詩吟、詩吟に合わせて勇ましく舞う剣舞、扇などを使って艶やかに舞う詩舞が有ります。各流派の皆さんは、それぞれの教場で練習に励んで居られるので有ります。

また特別企画として岳風流・桑名吟道会では「詩吟でつづる源平絵巻」と題して構成吟を、関心流では「富士山と謳う」と題して

構成吟を発表します。富士山は今年、世界文化遺産に登録され、世界的にも有名になりました。詩吟でも富士山を題材にした吟詠が多く吟じられています。

関心流は吟に合わせて剣舞、和歌や吟詠に合わせて詩舞も発表します。岳風影岳会も、独吟、合吟と日頃練習した成果を発表します。是非、見てお楽しみ下さい。



桑名市民芸術文化祭

「ふれあい交流会」に参加して

芸能I部門(琴伝流大正琴 桑琴会)

清野請子

合併を機に旧桑名市・長島・多度地区の文化交流が始まって五年。

会場も多度・長島と交互でしたが、初めて大山田コミュニティプラザで開かれました。募集から五ヵ月程の準備期間に桑琴会有志六名が手を挙げて、初めて参加させていただきました。



参加者の自主的な活動を主として夫々役割につくという事で、打ち合わせ段階から交流会にふさわしい活発な討論が重ねられ、役割分担も含め手作り感のある催しにはほほえましくもあり、又終わったあとの達成感も十二分に感じられました。特に、秋の市民文化祭では一緒にできない異なった部門の方々の舞台作りは新鮮でした。大正琴のあとはキッズジャズダンス：終わればハーモニカ・ギターに着付シヨとバラエティにとんだ演技・演奏となり、会場にお越しいただいた皆様にも大変楽しめる舞台になったことと思います。又、大正琴でもバイオリンの弓を使っていつもとは違った演奏を心がけましたが、いかがでしたでしょうか？

このような地区・異部門のふれあい交流会に皆様のお越しをお待ちしております。

百人一首ぶるたへのお誘い

趣味教養部門

(三重県かるた協会 桑名若菜会)

加藤誠

一昨年から小学校の教科書に百人一首が取り上げられるようになり、また百人一首かるた競技を題材にしたアニメ「ちはやふる」がベストセラーとなるなどの影響から、全国的にかかる競技を始められる方が爆発的に増加しています。私どものかるた会にもこのところ小学生を中心としてたくさんの方が入会されるようになりました。さて、本年も桑名市民芸術文化祭行事として、十一月十日(日)、六華苑一の間にて「初心者かるた取り大会」を開催します。この大会は、二人一組でチームを組み、札を取りあうもので、競技かるたの経験ない方でも気軽に参加できるものとなっております。毎年、札を一枚取るたびに大きな歓声(悲鳴?)が起き、楽しく、かつ真剣な勝負が繰り広げられます。



一人でも多くの市民の方に百人一首かるたに親しんでいただければと思っております。どうぞ、ご家族、お友達をお誘いあわせの上、たくさんの方に参加していただくと幸いです。

新春六華苑祭へのお誘い

副会長 荒木敏文

十年目を迎えた「新春六華苑祭」が一月十八・十九日の二日間、六華苑の洋館・和館・芝生広場等を会場として、新春にふさわしいイベントを開催いたします。文化協会会員の協力のもと、邦楽・洋楽・美術展・お茶会・キッズダンス・雅楽等であり、多くの来苑者の皆様に楽しんで頂ける内容を予定しております。

六華苑は、桑名の実業家諸戸清六の邸宅として、大正二年(一九一三年)に完成し、昨年は創建百年を迎えました。揖斐川・長良川を望む約一八〇〇㎡の広大な敷地に、洋館・和館・蔵などの建造物群と日本庭園を建設しました。特に洋館は、鹿鳴館の設計者であるジョサイア・コンドルが設計を手掛けております。平成九年に、洋館・和館が国の重要文化財に指定され、平成十三年には、日本庭園が国の名勝に指定され、市民の貴重な文化遺産となりました。



来苑者も平成五年六月に開苑以来、平成二十六年中には百万人を迎えるとのことで、大変喜ばしいと思っております。このように、素晴らしい六華苑を会場として、イベントに参加できる会員は、幸せであると思っております。第十回新春六華苑祭は、会員一同の日頃の精進した文化事業を披露する場でありますので、多くの市民の皆様にご来苑頂き、桑名の文化に触れて頂きたいと思っております。

平成25年度 桑名市文化協会育成補助金助成事業一覧

団体名	事業名	開催期日
桑洋会	第10回記念 桑洋会・アトリ工創合同展	25.4.29～25.5.5
桑名愛石会	桑名愛石会 第35回水石展	25.5.10～25.5.12
女声合唱団 くわな市民コーラス	くわな市民コーラス 第19回演奏会	25.6.2
Piano study	第3回 Piano study 音楽発表会	25.6.30
桑名少年少女合唱団	第20回記念おんがく会	25.8.18
桑名国際美術交流会	第11回 日韓友好親善美術展	25.10.10～25.10.13
シャンテ・クレール [桑名第九記念合唱団]	シャンテ・クレール 第25回記念演奏会	25.11.2
イ・フィオーリ	イ・フィオーリ 20周年記念コンサート	25.12.1
日本アマチュア将棋連盟くわなぐるーぷ束	Shogi (将棋) で遊ぼう、集まって!大人も一緒に、楽しもう!!	25.12.14～25.12.15
ぐるーぷ束	ぐるーぷ束 邦楽演奏会	26.1.12

この中から3部門の方々には活動紹介をしていただきます。

桑洋会・アトリ工創 第十回記念展覧会開催

美術部門(桑洋会) 小林 信 隆

桑名市の観光スポットのひとつ「六華苑」の奥庭の一角に佇む番蔵棟において「第十回記念桑洋会・アトリ工創合同展覧会」を開催しました。今年も連休の最中の四月二十九日から五月五日、二日会常任委員の吉田敏男先生の教室生徒二十四名が、各々のモチーフで描いた作品四十九点を多くの方に観て頂きました。(約一五〇〇名)

ご承知の通りこの六華苑は、全国的にも有名な文化財であり、来苑者は全国各地から来ております。展覧会場の番蔵棟は、苑のスポットの一つでもあります。会場に備えた芳名録には、遠くは関東・関西方面からのお名前が沢山見受けられました。これらの方々には、桑名の文化

活動の一端を垣間見て頂けたのではないかと思っております。

桑洋会・アトリ工創とも、大山田コミュニティプラザに於いて、毎月学習に励んでおります。洋画の学習を通じ桑名の文化を高めてゆくサークルとして、これからも活動を続けてまいります。

絵画にご興味のある方は、是非気軽にのぞいてみませんか。



桑名愛石会第二十五回水石展

趣味教養部門(桑名愛石会) 伊藤 和 幸

桑名愛石会第二十五回水石展は五月十一日(出)・十二日(日)の二日間、会員十二名の出品による三十八石展示の水石展となりました。

毎回、くわなメディアライヴ多目的ホールに



ついては広いスペース、天井の高さ、照明効果等、全てに於て水石展会場として整っており、多くの愛石団体より素晴らしい水石展だと好評を得ています。展示石は地元員弁川石を中心に御弊川石(おんべかわせき・鈴鹿市)、伊勢鑑石

と三重県産の出品石が多く、飾り(演出)についても高評価であり、桑名愛石会の特徴と水石文化をアピールする事が出来たと思います。

来場者については、案内はがき発送と愛好誌月刊「愛石」の催物案内に掲載頂き、また、天候にも恵まれましたので、市民の方はもとより、愛好団体としては東海三県、遠くは京都、福井県より来て頂きました。二日間で三五〇名程の方に観覧頂き、桑名愛石会と共に員弁川石を主に三重県産水石の素晴らしさを実感頂けたと思っております。

今回の桑名愛石会第二十五回水石展出品石については、全国愛好誌月刊「愛石」八月号に二頁、カラー掲載しましたので桑名愛石会を全国に発信できたと思えます。

また、十二日は桑名市文化協会第二十二回総会が開催され、終了後水谷前会長、今村会長に会場頂き有難う御座いました。

ありがとうございます 来年は創立三十五年

音楽部門(女声合唱団) くわな市民コーラス

三 田 亮 子

去る六月二日、桑名市民会館・大ホールにて、第十九回演奏会を開催させて頂いたいただきました。今回は、男声合唱団「わをん」とヴァイオリニスト金森圭司氏をお招きいたしました。

「わをん」の方々による、無伴奏男声合唱の繊細にして深みのある演奏や青島広志氏編曲の混声合唱曲「夜明けのスキヤット」では、透明感と躍動感のコントラストを堪能していただけた事と存じます。「ツイバルダイが見た日本の四季」は、名曲《四季》と「花・城ヶ島の雨・村まつり・ペチカ」からなる組曲です。バロック音楽と近代歌曲がお互いを引き立てる新しい編曲。歌うように紡がれる美しいヴァイオリン。至福の時を過ごしました。



また、東北の震災を風化させずエールを送り続けたいと演奏した詩人と合流一氏「詩の継」による「つぶてソング」には「心を打たれました」「涙が自然に流れました」と、多くの反響をいただきました。そして、やさしいヴァイオリン独奏から、やがて会場全体の大合唱となった「花は咲く」。感動しました。「歌声で人々の心を結び、共に歩もう」との和合先生の手紙の言葉の様に、皆が一つになりました。

私達はこれからも、より一層努力を続けます。今後とも、ご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

この技紹介

初めての戸大歓迎

美術部門(彫削会)

末 廣 英 昭

大山田コミュニティプラザで彫削講座を受講して居ます。学校を卒業後五十年、社会人として仕事一筋に励んで来た私には、彫削を鑑賞する機会はありませんが、作品を作るなぞ想像もしていませんでした。平成二十一年、知人より講座の紹介を受けて作品制作に取り組みました。

教室は四日市大学吉村寿夫先生の指導のもと、十年を超える先輩達と月一回第四土曜日に各自の思いで作品制作に取り組んでいます。私は最初、何を作ったら良いのか悩みましたが良き先輩達のアドバイスで思い



図書館での出品

もよらぬ作品ができ、また粘土作品では素焼きから本焼きする時、温度によって色彩が異なって面白い作品ができる等楽しみの一つです。又、先生の美術の歴史、電気炉を使ってアクセサリーの制作、名古屋で開催される国展の鑑賞、三重県の有名な陶芸家の窯元を見学に出掛けたりして居ます。

私たちの活動

情熱の踊り

フラメンコ

芸能III部門(ルナ フラメンカ)

岡 本 早 苗

情熱の国スペインの踊りとして知られるフラメンコ。流浪の民による様々な文化の特徴を伝える踊りとしてアンダルシア地方に根付きました。その土着的な踊りが今では舞台芸術としての完成度を高め、世界中で多くの人に愛されています。中でも私たち日本人の愛好家は多く、スペインのスタジオに行けば、スペイン人の次に多いのが日本人のバイラオーラ(踊り手)です。

私たちの練習は、まずサバティアー(足の打ち鳴らし)や腕の動きの基礎をして、次に練習曲の「セビジャーナス」を踊ります。その後ク

ラス毎の課題曲に入り、曲種によってカスタンネットや帽子・扇・マントなどを使って踊ります。

フラメンコの魅力は、愛いを帯びた唄、ギター伴奏のラスケアード(かき鳴らし)と、独特で複雑なリズムを足で打ち鳴らして踊る踊り手が即興的に合わさって醸し出されるエネルギーにあります。生演奏のギターや唄に楽譜はありません。テンポもその時々によって変わってきます。一歩合わなければ踊りも止まってしまふ、息を合わせてそれぞれの情熱を表現していきます。そのための基礎技術と表現力を磨くために私たちはレッスンをしています。

昨年は、桑名市民芸術文化祭にてステージ発表をしました。見ていただく皆様私たちの情熱が少しでも伝わればと思いきれからも研鑽していきたくと考えます。



第二十二回

桑名市民芸術文化祭

ポスター入賞者表彰式

今年度の文化祭ポスター原画市長賞には、市内在住の三輪啓子さんが選ばれました。三輪さんの原画はパソコンで桑名市をイメージしたすばらしい作品です。

佳作には、市内在住の大谷典子さんが選ばれました。

七月二十九日(月)に表彰式を行い、教育長と今村会長に表彰していただきました。



前列左から三輪啓子さん、大谷典子さん
後列左から森副会長、今村会長、伊藤教育長



桑名地名あれこれ(9)

社会文化部門
(個人会員)

〓 獵師町 赤須賀 〓

大河内 浩

桑名旧市内東部の揖斐川沿いに赤須賀という漁業の町があります。平成二十二年開館の「はまぐりプラザ」の名に象徴されるように、江戸時代から蛤ほか貝類を採取する漁業や白魚漁が盛んで、江戸時代中期に編纂された「久波奈名所圖會」にも「白魚は城東赤須賀にて製して上品なり、年ごとに関東へ御献上」とあります。

この須賀という名は、近隣にも天カ須賀・白須賀、全国的にも横須賀ほか多数あり、洲である箇所すなわち海岸の意味ですが、「赤」とはどういう意味合いでしょうか。古来海は青い、浜は白いと表現されてきましたが、赤ということとは地が新しい、或いは魚介類が豊富であるの形容かと思われま

す。赤須賀神明社由緒書きによりますと、室町時代永祿四年(一五六一)三河国額田郡市場村(現在の愛知県幸田町)から渡来した十族の武將たちが流れ着いたのは桑名赤須賀の地で、漁業を始めたところ、江戸時代慶安四年(一六五二)



慶祝450年の表記で石取祭を迎える赤須賀神明社正面

この地が武家屋敷地に引き込まれ元赤須賀となり、赤須賀漁民は赤須賀新田(現在の地蔵)へ移住、そして更にまたその六十年後、現在の獵師町赤須賀街区を開発して再度移住しました。
今年平成二十五年はその赤須賀神明社が三河国より移遷されてから四五〇年で、桑名市街の石取祭と並び江戸時代から行われている赤須賀神明社の石取祭は本年慶祝四五〇年記念行事と位置づけて盛大に行われました。

御賛助いただいたいております 特別会員の皆様

9月1日現在(五十首順)

- 医療法人誠会 山崎病院様
- お菓子処「和」様
- カネソウ株式会社様
- 株式会社 ケイティーエソシヤ様
- 株式会社 山王鉄工所様
- 株式会社 東和様
- 株式会社 水谷精機工作所様
- 株式会社 レイステーシ桑名様
- 桑名信用金庫様
- 在日本大韓民国三重県桑名支部様
- 茶道具 山水園様
- 中央不動産株式会社様
- 辻内鑄物鉄工株式会社様
- 兎月堂様
- 花新江場中店様
- 花乃舎様
- 光精工株式会社様
- 三重精機株式会社様
- 森田フードシステム株式会社様
- 有限会社 茶茂様

日頃の協力に對しまして、
深くお礼申しあげます。

編集後記

初秋の候、今年も文化・スポーツ・食欲の秋が到来しました。九月から恒例の芸術文化祭が予定され、舞台部門・展示部門で多くの演物、作品等を拝見できそうです。今はその発表に向けて取組み、活動が活発になされている頃と思われま

す。そういう活動の一部を当該でお報せし、それらの活動への理解を深め、ひいては活動が活発化し、拡大発展して、桑名市の文化活動が飛躍をすれば、との願いをこめてお届け致します。

(菅原真治)



広報担当副会長
委員

- 文学部門 丹羽 宗俊
- 美術部門 高橋フクミ
- 音楽部門 末廣 英昭
- 芸能I部門 菅原 真治
- 芸能II部門 渡邊 法子
- 芸能III部門 藤田 周作
- 演劇部門 岡本 早苗
- 社会文化部門 早川 幸成
- 茶華香道部門 大河内 浩
- 趣味教養部門 三浦 幸子
- 加藤 誠